

先進的な文書情報マネジメントシステムの導入事例を表彰する
第6回 JIIMA ベストプラクティス賞 発表

2012年10月2日

社団法人日本画像情報マネジメント協会*

JIIMA:(社)日本画像情報マネジメント協会(理事長;高橋通彦)は、54年の長きにわたり文書情報マネジメントの普及に努めてきた国内唯一の公認団体です。(主管は経済産業省 製造産業局 産業機械課) マイクロフィルムの普及からスタートした活動は時代の変遷とともに変化し、現在では「文書情報マネジメントの普及啓発」を目的として、積極的に公益活動を重ねております。

その一環として2007年(平成 19 年)より先進的な文書情報マネジメントシステムを導入し、顕著な成果を出された企業・団体に対して『ベストプラクティス賞』を設け表彰しております。

*

* 昨年までの授賞団体一覧は、裏面をご参考ください。

本年度第6回 JIIMA ベストプラクティス賞は、審査委員会での厳正な審査の結果、以下に決定致しました。

1. 「東京都豊島区 総合文書管理システム」

豊島区 情報管理課長 高橋 邦夫氏

2. 「伊藤病院 長期診療に対応する電子カルテと紙カルテの融合」

伊藤病院 診療情報管理室長 真原 章郎氏

3. 「日本飛行機 生産管理システムと連携した製造記録書の長期保存」

日本飛行機株式会社 航空宇宙機器事業部 松永 駿氏

4. 「日本水路協会 海洋の歴史的資料等のアーカイブ構築」

一般財団法人日本水路協会 調査研究部長 明石 龍太氏

表彰式及び受賞記念の事例発表講演は、10月10日(水)15:00より、JIIMA 主催『eドキュメント フォーラム 2012』(東京有明 東京ビッグサイト 会議棟 6階 605/606 会議室)で行われます。

[eドキュメント JAPAN/ フォーラム & ショウ 2012]

「クラウドとソーシャル時代の業務改革と環境改善をリードする統合文書情報マネジメント」をテーマに10月10日(水)~12日(金)、東京ビッグサイトで開催いたします。

フォーラム会場では、政府による電子行政オープンデータ戦略や、ビッグデータの基礎を固める文書情報記録の重要性等、関係省庁や有識者による特別講演を含む35セッションのセミ

[裏面へ続きます]

ナーが行われます。JIIMA からは「文書情報マネジメントの最新動向や中期ビジョン 2012」の発表や「文書情報マネージャー認定制度」の発表などを行います。
またショウ会場では 36 社による最新の文書情報マネジメントのソリューションやシステムの展示、アーカイブパビリオンでは国立国会図書館や国立公文書館など 15 団体によるミニセミナーが行われます。

公式サイト <http://www.e-document.jp/>

*日本画像情報マネジメント協会(JIIMA):54 年間、文書情報マネジメントの普及啓発に努めている唯一の公認団体でメーカー・サービスビューロー・ソリューションコンサルタント等、約200社が参加する社団法人。

本件のお問い合わせは、下記にお願い致します。

JIIMA 専務理事 長濱

E-mail nagahama@jiima.or.jp TEL. 03-5821-7351

[ご参考]

- 2007 年 第1回ベストプラクティス賞
「みずほ銀行 カードローン申込書の e-文書法対応による完全電子化」
- 2008 年 第2回ベストプラクティス賞
「江東病院 紙カルテの完全電子化」
「神奈川県民共済生活協同組合 統合文書情報マネジメント(ECM)の実践」
- 2009 年 第3回ベストプラクティス賞
「東京海上日動火災保険 e-文書法による保険契約書の完全電子化」
「日本原燃 長期保存文書類の統合文書情報マネジメント(ECM)の実践」
- 2010 年 第4回ベストプラクティス賞
「大阪大学医学部附属病院 診療記録の完全電子化の実現」
「佐賀県庁 台帳記録管理システムによる業務改革」
- 2011 年 第5回ベストプラクティス賞
「(株)パソナでの ECM による監査対応システムの構築」
「富山大学附属病院での電子カルテ環境での紙文書の電子管理」